

# 国語科授業改善に向けて

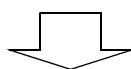
## 【南部地区 国語科の課題】

＜全国学力・学習状況調査結果、埼玉県小・中学校学習状況調査結果、学校訪問等から＞

各種調査結果並びに学校訪問等を総合すると、南部地区国語科の課題は、

「**学習意欲の向上**」とともに、以下のような「**学習内容の確実な定着**」である。

- 小◆筆者の表現の工夫や考えをとらえること(全国学力・学習状況調査)
- 小◆文章全体を見通して、書く必要のある事柄を選ぶこと(埼玉県小・中学校学習状況調査)
- 中◆説明的な文章と補助資料とのかかわりを理解すること(全国学力・学習状況調査)
- 中◆文脈の中における語句の意味を正確にとらえ、理解すること(埼玉県小・中学校学習状況調査)



## 【課題解決のための授業改善の視点と具体的手立て】

### 1 見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動

- 授業の冒頭に学習課題を提示し、当該授業での見通しを児童生徒に理解させる。(小・中共通)
- 授業の最後に児童生徒が当該授業で学習した内容を振り返る機会を設ける等の取組の充実を図る。(小・中共通)
- 児童生徒が家庭において学習の見通しを立てて予習したり、ノートを使って学習した内容を振り返って復習したりする習慣の確立を図る。(小・中共通)

1時間1時間の授業だけでなく単元における見通しと振り返りも行う。

### 2 目的を明確にした相互交流

- 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりする活動を取り入れる。(小)
- 文章を読んで分かったことや考えたことを説明したり、それらを聞いて感想や質問を述べたりする活動を取り入れる。(中)
- 書いた文章を発表し合ったり、互いに読み合ったりする活動を取り入れる。(小・中共通)

### 3 読書へつなげる学習過程

- 音読や解釈→自分の考えの形成及び交流→目的に応じた読書という学習過程の明確化を図る。(小)
- 語句の意味の理解、文章の解釈→自分の考えの形成→読書と情報活用という学習過程の明確化を図る。(中)

## 《家庭学習の定着に向けて》

### 4 内容が明確で授業に生かせる宿題

- 単元テスト(小)、定期テスト(中)で出題する範囲の漢字を集めたプリントを作成し、ノートに練習させる。→ 毎授業の最初の5分間で5問程度の小テスト(同上のプリントで自己採点)を行う。
- 新聞のコラムを視写させ、授業で音読させる。教師が感想等を添える。

